

平成31年 年頭所感

夢と希望を未来につなぐ まちづくり



小野 克典

桶川市長

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、市政に対し、日頃より深いご理解とご協力を賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。

本市では、総合振興計画に掲げた各施策の推進に向け、スピード感を持って各種事業に取り組んでおります。昨年5月には、長年の懸案でありました市役所新

次世代へ引き継ぐ魅力ある おけがわをめざして



佐藤 洋

桶川市議会議長

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、昨年5月に市役所の新庁舎が開庁しました。新しい議場では、本会議の映像配信を実施し、これまで以上に議会の情報発信が図られているものと確信しております。議員と市執行部との議論、議員間の活発

庁舎が開庁いたしました。庁舎1階には、障がい者の皆さんが働くカフェと、文化芸術団体の皆様の作品が展示されているギャラリーが併設されておりますので、市民の皆様にも、憩いの場として気軽に立ち寄りいただければ幸いです。

さて、本年4月には、坂田地区に、本市では初めての事業手法である公共と民間の連携手法による、公共施設(図書館・体育室・音楽室等)と民間施設(スパー・物販・クリニック等)の複合施設がオープンいたします。これにより、駅西口図書館を中心とした市内東西を結ぶ図書館機能のネットワークが構築され、利便性の更なる向上が図られます。

また、駅東口エレベーター設置事業についても、早期稼働に向け工事に着手し、引き続き、駅自由通路の改修工事についてもJ.R東日本と連携し進めてまいります。

更に、企業誘致では、圏央道桶川加納I.C.周辺で

な討議を経て、市民本位の政策・条例などが数多く誕生し、市民協働のまちづくりを進められるよう、より一層、努力してまいります。議会開会前には、市内の芸術文化団体の皆様のご協力をいただき、議場で軽音楽発表会を開催していただきますので、是非、多くの皆様に議会に足を運んでいただければと存じます。

ところで、我が国は、少子高齢化や人口減少がさらさらに進んでおり、平成26年に日本創生会議人口問題検討会分科会が発表した「2040年には、若者や女性の減少により全国86%の市区町村が消滅の危機に直面する」という推計が報道され、大きな衝撃を与えたことは記憶に新しいところです。

本市は、その消滅市には入っておりませんが、人口減少をどのように抑止し、定住人口・交流人口を増やすか、次世代へ魅力ある「おけがわ」のまちをどのように引き継ぐのかは、課題のひとつであります。

行われている事業も、2021年春の操業開始を目指して整備が進められており、税収の確保や雇用の創出、定任促進などが期待されます。

また、昨年「ふるさと納税」等を通じてたくさんのご寄附をいただきました、「旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場跡地整備管理基金」や「桶川市子ども・子育て応援基金」等につきましても、ご厚情に応えるべく、事業推進のため有効に活用させていただきます。

引き続き、子どもから・高齢者・障がい者まで、誰もが安心して暮らせる「夢と希望を未来につなぐまちづくり」に向け取り組んでまいります。市民の皆様には、市政に対します、変わらぬご理解とご協力を賜わりますよう宜しくお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして、良き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

市議会といたしましても、社会情勢の変化を的確に判断するとともに、市民の皆様の声を第一と考え、市政に反映させるべく、全力を傾注してまいります。5月には皇太子殿下のご即位により、新たな元号が公布されます。

戊年で茂って実った果実が種子となり、エネルギーを蓄えて次の始まりに向かう成果を出せる亥年となります。ますます勇往邁進、努めてまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

